

## 第18回「定期総会」を開催

富谷町日中友好協会の「第18回定期総会」が6月15日、富ヶ丘公民館和室で行われました。初めに、水戸会長から“平和友好条約締結35周年の本年、民間交流の前進と市制をみすえた会の活動に取り組みたい”とあいさつ。また来賓の及川教育次長、相沢町議会副議長、中山県議から“近隣国との民間レベルの友好交流こそ大切な活動”とのごあいさつをいただきました。議事では24年度の事業報告と収支決算が承認、また25年度の事業計画(①地域と中国の友好交流を促進②会員の拡大と広報活動③中国語教室の運営④市協会設立準備委員会の発足⑤日中友好協会の事業への参加と協力)及び収支予算が承認されました。

第2部として、渡辺前議長から市制移行への町の取り組みについて解説と質疑が行われ理解を深める事ができたと好評でした。富谷町では昨年12月に人口5万人を超え、本年から県市町村課との協議を始めている。今



後、総務省を訪問しアドバイスを受け、明26年には市制移行準備室の設置、住民懇談会やアンケート調査の実施等が計画されており、27年10月の国勢調査の結果をふまえ、28年の市制施行を目指している。

第3部の懇親会には17名が参加し、小籠包やシュウマイ等で飲茶を楽しみながら、日中関係や市移行への期待など語られました。

**七月日に留学生招待し  
ブルーベリー摘み取りと懇親会**

☆参加者を募集！ 十日迄に申し込みを☆  
七月十七日(日)十時半から富谷町「明石地区つもとり園」で留学生を招待して行います。この後、「大黒澤苑」で昼食懇親会を行います。入園料七百円が必要です。雨天決行。  
(申し込み) 十日締め切りで、FAXで水戸(358) 5070までお願いします。

### 『S CHINA』が発刊60周年

中国が最も早く発行し、中国の国情や発展、文化など様々な情報を掲載してきた日本語総合月刊誌「人民中国」が6月、60周年(1953年創刊、通巻720号)を迎えた。写真も豊富なA4判。月初に郵送される。年間4800円。購読申し込みは水戸まで。

## § 8月の「植林事業視察」を募集中! §

県協会では、今春実施した植林の生育調査及び、現地での草の根交流や長春大学日本語課の学生との交流、大連市内観光等を目的に「植林事業視察 5日間--吉林省九台の植林地と大連・長春を訪ねて」を企画、現在、参加者を募集しています。

〈期間〉8月23日(金)午後～27日(火)午後を予定  
〈費用〉約14万円(食事、サーチャージ等込み)  
〈申し込み〉河北新報トラベル

### ひろば「広場」

☆募集☆  
毎月25日  
が投稿の締め切りです

**友好川柳**  
「棚上げは 昔も今も 賢人の智」  
(お互い被害大。鳩山発言もいかなものかだが、一歩前進の知恵を出せ。もうそろそろ、政治家先生)  
「尖閣へ 配置したいよ DJポリス」  
(サッカーファンへ見せた見事な指揮で、中国艦や両国のナシヨナリストをさばいて)  
「古(いにしえ)は 蜀(食)安全と 劉備(言)い」  
(今度は毒ピータンに驚き。孔明も劉備も嘆いていそう)  
(辛口豆板醤)

### ご案内「吉林省緑化事業写真展」(主催・宮城県日中友好協会)

本年4月に実施された「植林訪中」の様子が参加したメンバーの眼をとおして植林作業の他、歓迎宴、ハルビン、長春、九台市などでの温かい人間交流、民族や歴史の学習等の場面を再現するはず? お楽しみに。

〈期間〉7月15日(月)10時半から、21日(日)15時まで。  
〈会場〉エル・パーク仙台(三越定禅寺通りビル)5Fギャラリー。

### 読書「おどろきの中国」(橋爪大三郎×大澤真幸×宮台真司著 講談社現代新書 945円)

2月に発刊でしたが、新書の帯広告が「そもそも『国家』なのか?」なので、やゆしたような印象で、購入しなかったが、15万部売れているので手に取ってみた。内容は“おどろきの”で、3人の社会学者の大変まじめで深みある鼎談でした。知っているようで知らない中国についての過去、現在。380ページに及ぶので3部「日中の歴史問題をどう考えるか」、4部「中国のいま・日本のこれから」から読むとよいかも。

話題&情報